

小電力型ワイヤレスシステム

屋外用方向判別式パッシブセンサ送信機

EXM-60T (DC12V)

EXM-60TA (AC100V)

このたびは本商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に本説明書をお読みいただき、正しいご使用をお願い申し上げます。

1 商品説明

1. 商品説明

「屋外用方向判別式パッシブセンサ送信機EXM-60T/60TA」は、電波法で定められた「小電力セキュリティシステムの無線局の無線設備」に適合しています。弊社の小電力型ワイヤレスセキュリティシステムの受信機シリーズと組み合わせてご使用ください。

本商品は、移動体(人体、車両など)から放出される熱線を独立した2つのパッシブセンサーで検知し、その順序で移動方向を判別し、設定した方向である場合に、内蔵の送信機が電波を介して受信機に伝達します。

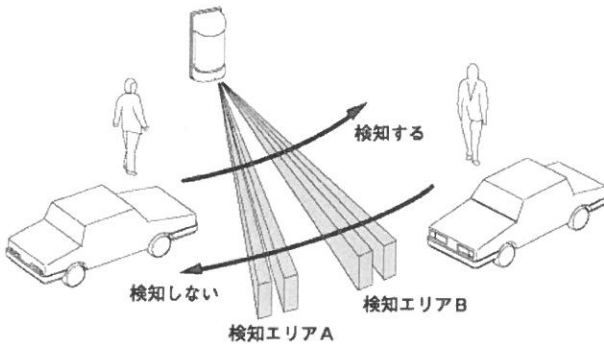
本商品の検知エリアは下図のように検知エリアAと検知エリアBから構成されており、スイッチにより検知したい方向性を設定することができます。
また周囲の明るさにより検知送信を制御する昼夜判別機能を備えています。

下図のように検知方向を“A→B”に設定すると、移動体が検知エリアAからBに移動したとき検知します。逆方向の場合は検知しません。

また、以下の場合も検知しません。

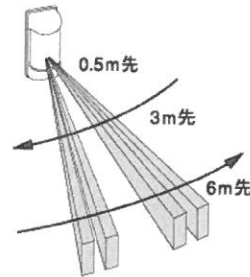
- ① 5秒以上かかる遅い通過
- ② 一度移動体が通過した後の5秒以内の再通過(方向にかかわらず)

検知方向“A→B”に設定のとき



2. 検知可能速度

本商品はその原理上、検知可能な速度が限定されます。速度の速い移動体あるいは遅い移動体は、センサーが判別できず検知しなかったり誤って検知したりすることがあります。



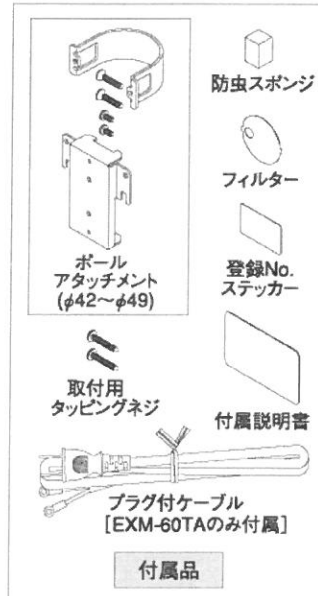
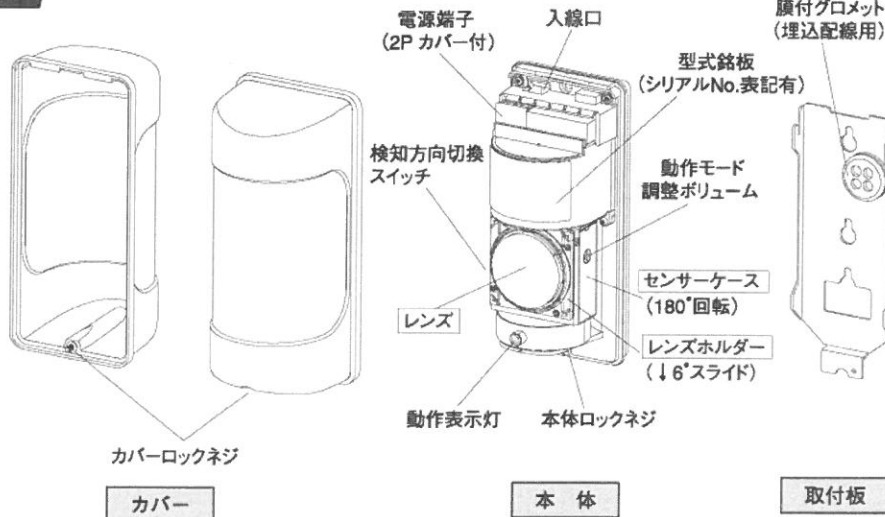
左図のように、検知エリア内のどの地点を移動体が通過するかによって、検知可能速度が異なります。検知最小速度より速度の速い移動体、または検知最大速度より速度の速い移動体は正確に検知しないことがあります。

通過地点	検知最小速度	検知最大速度
0.5m先	0.05m/s (0.18km/h)	1m/s (3.6km/h)
3m先	0.2m/s (0.75km/h)	4m/s (15km/h)
6m先	0.4m/s (1.5km/h)	8m/s (30km/h)

※上記数値はあくまで目安であり、環境によって検知可能速度は左右されます。

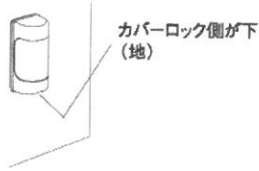
※検知可能距離内で、通過距離が変動する場合、検知可能な速度は上記より0.4m/s~1m/sとなります。

2 各部の名称



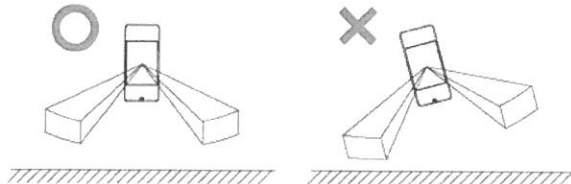
3 設置上の注意

●本機は建物の壁面あるいはボールに取り付けて運用するように設計されています。必ず天地方向を守って施工してください。

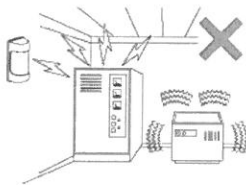


●本機を設置する高さは検知する移動体の胴体部分に合わせてください。(人体ですと地面から0.8~1.5mの高さに設置します)

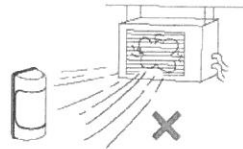
●本機の水平エリアが地面と平行になるように、本機を正面から見て傾きなくまっすぐに取り付けてください。



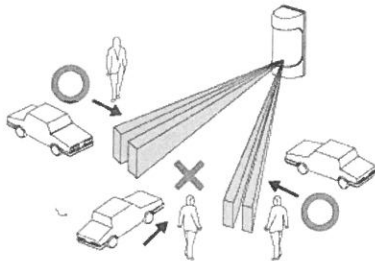
●強い電界や磁気を発生する機械の近くでは正常に動作しないことがあります。



●本機および本機の検知エリアが冷暖房器具の吹き出し口など急激な温度変化を起こしやすい場所にかからないように設置してください。

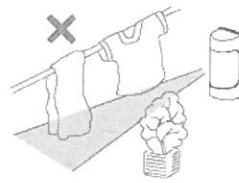


●エリアには、人体を検知し易い向きとそうでない向きがあります。人体が検知エリアを横切って移動した場合に検知するように設計されています。検知エリアにまっすぐ近づいたりエリアの中で立ち止まると検知できないことがあります。

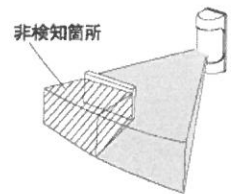


●検知エリアが敷地外に出ないようにエリア設定、距離設定をしてください。思わぬものを検知する場合があります。

●検知エリア内に洗濯物や植物の枝などの動く物がかからないように設置してください。



●検知エリア内に遮光物となるものがあると、影となった部分は検知できません。(透明なガラスも遮光物になります)



●本機は防水型ではありません。水の掛かる場所や浴室などの湿気の多い環境でのご使用は故障の原因になります。

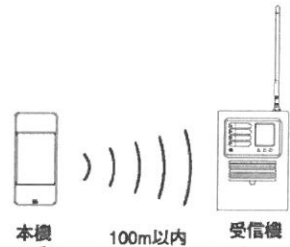
●本機を強い振動や直射日光、自動車のヘッドライトなどのあたるところには設置しないでください。

付属フィルターのご使用について

太陽直射光がセンサーに直接あたる場所で、昼間使用時に誤作動する場合は、付属のフィルターをはめてご使用ください。

検知感度は若干低下しますが、太陽光の影響を軽減し機器が安定します。(詳細は付属説明書をご参照ください) なお、照明制御用などで夜間のみご使用の場合は、フィルターの挿入は必要ありません。

●本機の電波の到達距離は、見通し距離で100m以内です。建物の構造や障害物など周囲の環境によっては到達距離が短くなる場合がありますのでご注意ください。



●電波の到達距離は次のような使用場所では短くなる場合があります。

- ・本機と受信機の間金属や鉄筋コンクリートなどの隔壁がある場合。
- ・壁内部の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールなどを使用している場合。
- ・本機を取り付ける面が金属の場合や周辺が金属で囲まれるような場合。(スチール家具の間など)
- ・テレビ、ラジオの送信所付近や強電界地域の場合。

4 ご使用上の注意

●検知する方向、しない方向にかかわらず、一度移動体が通過した後約5秒間は検知しません。

●5秒以上かかる遅い通過は検知しません。

●検知可能速度は環境によって異なります。必ず動作テストをしてください。

●本商品は簡易型方向検知センサーであり、方向検知の正確性を要求される用途には使用をさけてください。赤外線センサーを組み入れたシステムを別途提案いたします。

●屋外での使用の場合、降雨時には若干検知距離が短くなる場合があります。

●2台以上の送信機から同時に送信されると、受信機が信号を受け付けない場合がありますが故障ではありません。

●本運用の前に運用する場所間で確実に送信可能で受信機が信号を受けられることを確認してください。

●本機は精密機器ですので落下などによる衝撃を加えると故障の原因となります。取り扱いには充分注意してください。

●本機を改造すると法律により罰せられます。また、故障の原因になりますので、分解や改造は絶対しないでください。

●本機の使用は日本国内に限ります。

●本機は防雨構造であり、防水構造ではありません。ホースなどで直接水をかけないでください。

●本機のカバーおよびレンズは傷つきやすい材質ですので、こすったりしないでください。

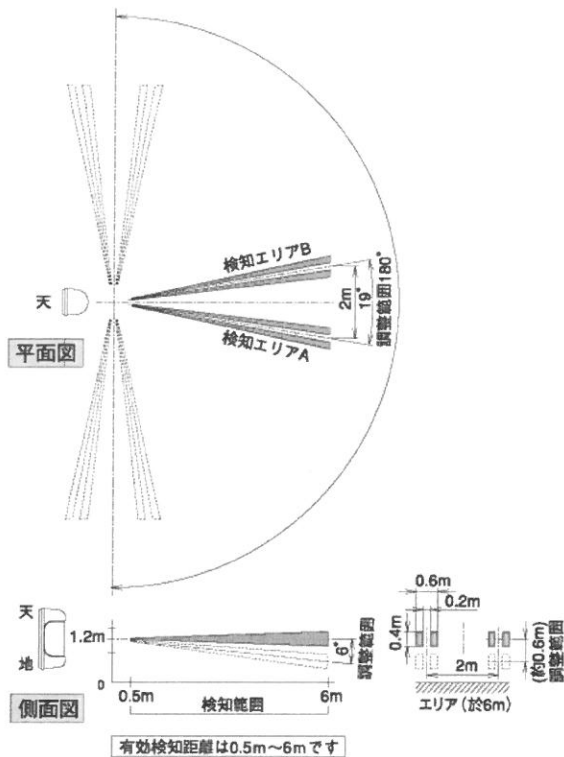
警告

●本機は物体の移動によって生じる[遠]赤外線エネルギーの変化をキャッチするように設計されています。したがって、検知エリアの環境が何らかの要因で同様の变化をおこした場合は、判別できずに信号を発する場合がありますのでご了承ください。また、何らかの要因で信号を発しないことがあります。事故対策は別に十分ご用意ください。万一発生した人身事故・災害事故の損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

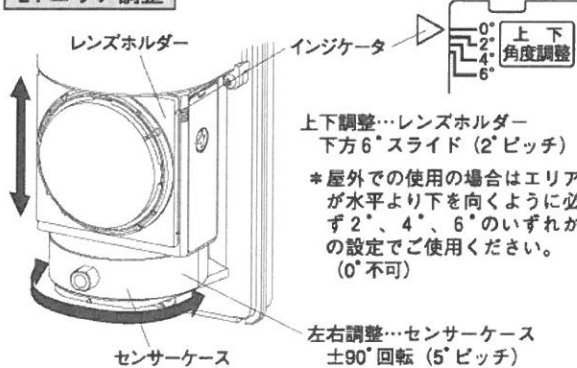
5 検知エリア

本商品の有効検知距離は0.5m～6mです。
0.5m以下では動作しない場合があります。

1. 検知エリア図



2. エリア調整



6 機能

本機は以下の機能を備えています。
環境、用途に応じて適切な設定をしてください。

◎ウォームアップ機能

電源投入後約1分間は、機器安定化のための待機状態になります。
この状態の間、検知動作は行いません。
約1分経過後より検知可能な状態に自動的に切り替わります。

◎検知送信

センサーが方向検知をすると、表示灯点灯と同時に警報信号を1回
送信し、約5秒後に消灯し復旧信号を1回送信します。
(表示灯は約5秒間点灯)
人体検知と信号送信の関係は以下の【動作モード】により制御を
行うことができます。

◎定期送信機能

送信機の状態を定期的に受信機に報知する機能です。
何等かの障害で電波が届かなくなった場合や、送信機の故障、電
源の異常をチェックできるように定期的に自動送信を行います。
電源を投入して約5秒後に最初の送信を行い、その後約5時間毎に
送信を行います。
(定期送信時、表示灯は点灯しません)

◎昼夜判別機能【動作モード】

周囲環境が、本機で設定された明るさより暗い場合のみ、検知動
作および検知送信を行う機能です。
(定期送信は設定に拘わらず行なわれます)

	昼・夜 昼・夜無関係に動作 (出荷時設定)
	夜 夜間のみ動作

* 昼と夜の中間の微妙な設定は、周囲が設定したい明るさのとき
に動作確認を行い調整してください。

* 「夜間のみ動作」に設定した場合でも照明などで周囲が明るい
環境では検知しないことがあります。その場合はボリュームを
少し右に回し検知するように調整してください。

* 「登録」時および動作確認を行なわれる場合は必ず【昼・夜】
に設定してください。

◎検知方向切換

移動体の検知する方向を選択する機能です。
センサーを正面に向けた時に、向かって左側を【検知エリアA】、
右側を【検知エリアB】とし、移動体を検知した順序で移動方向を
判定しています。

	エリアA→エリアB のとき検知(出荷時設定)
	エリアB→エリアA のとき検知

* 5秒以上かかる遅い通過は検知しません。

* 方向に拘わらず、一度移動体が通過した後約5秒間は次の検知
は行いません。

7 登録

本機をご使用の前に、必ず使用される受信機への登録を行ってください。
登録が行われていないと正しく機能しません。以下の作業は登録される受信機の近くで行ってください。

発報登録の場合

本機の電波を実際に送信して登録する方法です。
センサー(送信機)と受信機の距離を必ず1m以下にして登録作業をおこな
ってください。また、動作モードは必ず【昼・夜】にしてください。

- (1) ロックネジをゆるめ、カバーをはずし端子に電源線を接続してください。
- (2) 受信機を登録モードにしてください。
- (3) 送信機に電源を供給してください。
- (4) 約1分間のウォームアップ終了後、センサーを検知動作させてください。
- (5) 検知信号が送信され受信機側で登録動作(報知・表示)があれば完了
です。

●受信機への登録

シリアルNo.登録の場合

本機のシリアルNo.を受信機に直接登録する方法です。
使用される受信機にシリアルNo.登録機能がある場合のみ適用できます。

- (1) 本機のシリアルNo.を確認してください。
シリアルNo.は、カバーを開けて本体の型式銘板に記載されてい
ます。
- (2) 受信機取扱説明書に従ってシリアルNo.を入力してください。
受信機の種類によっては、送信機タイプの入力が必要な場合が
あります。
その場合、本機の送信機タイプは【3:接点】です。

●登録の確認

- (1) 以下にしたい登録の確認をしてください。
・受信機の登録モードを解除し通常モードにしてください。
センサーを再度検知動作させてください。
・受信機が設定された動作を行えば正しく登録されています。
- (2) 必要に応じて、付属の登録No.ステッカーに受信機への登録No.を記
入して、送信機本体などに貼り付けてご使用ください。

* 正しく登録されなかった場合は登録作業を最初からやり直して
ください。また再登録や登録チャンネルの変更などは、一旦登
録を消去してから再度登録作業を行ってください。

* 一旦登録すると、その後電源を切っても受信機への登録は消え
ません。

8 配線

本機の検知信号は電波で送信されますが、電源供給は有線となっています。以下に従い、配線・施工願います。
(注記：AC100Vの配線工事は、電気工事士の資格が必要です)

1. 端子配列図

電源	EXM-60T	EXM-60TA
電	●DC10.5~30V (極性なし)	●AC100V±10V (50/60Hz)
源	●消費電流：50mA max	●消費電力：2W

2. 本商品—電源間の配線距離 (EXM-60Tの場合)

使用電線	DC12V供給時	DC24V供給時
0.33mm ² (直径φ0.65mm)	200mまで	2000mまで
0.64mm ² (直径φ0.90mm)	400mまで	3900mまで
1.13mm ² (直径φ1.20mm)	700mまで	7000mまで
2.01mm ² (直径φ1.60mm)	1300mまで	12000mまで
3.14mm ² (直径φ2.00mm)	2100mまで	19000mまで

(注) 2台以上接続する場合の配線距離は〔上記の値÷台数〕になります。

[注記]

EXM-60TA付属のプラグ付ケーブルは、屋外用ではありません。屋内に設置される場合は、そのままご使用頂けますが、屋外に設置される場合は、登録の際の一時電源線としてご利用ください。

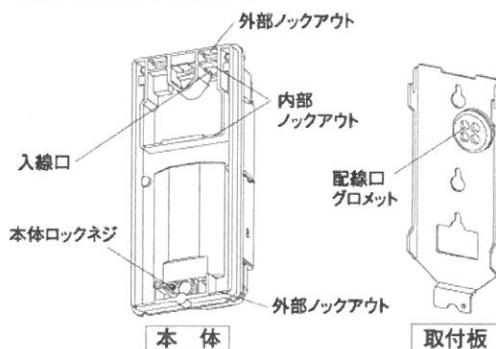
3. 入線口

●露出配線の場合

入線経路を決め、本体裏面の使用する外部ノックアウト(天地4ヶ所)と対応する内部ノックアウト(4ヶ所)の2ヶ所をニッパーなどで破り、入線口より端子に配線してください。

●埋込配線の場合

壁面などからの配線引出し箇所が取付板の配線口グロメットに合うように位置決めした後、グロメットを破って通線し入線口より端子に配線してください。

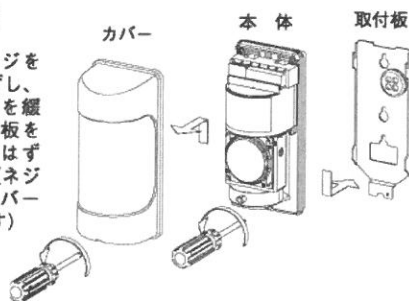


9 取付方法

*施工前に設置される場所での通信が確実であることを必ず確認してください。通信状態が不十分と思われる場合は、設置場所を移動して再度確認してください。

① 取付板の分離

- カバーロックネジを緩めカバーをはずし、本体ロックネジを緩め本体から取付板をスライドさせてはずしてください。(ネジをゆるめるとカバーは自然に開きます)



② 配線作業(通線) *配線後は必ずコーキングをしてください。

露出配線の場合

- 本体裏面の使用するノックアウトを破ってください。
[8.配線の項参照]

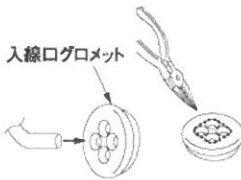
埋込配線の場合

- 取付板のグロメットに配線材を通し引き出してください。

入線口グロメットについて

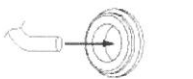
EXM-60Tの場合

- 外皮径φ3~φ6mmの電線の場合は凹部に押し込んで膜を突き破ってください。
- 外皮径φ6mmを超える電線の場合は図の破線部をニッパーなどで切り取ってください。



EXM-60TAの場合

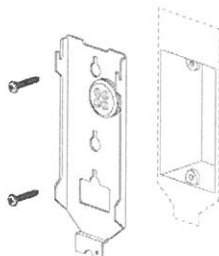
- 電線の先端がドライバーの先端で凹部中央に小さめの穴を開け外皮ごと押しこんでください。



③ 金具の固定

壁付けの場合

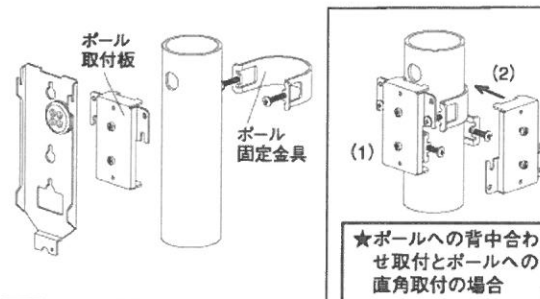
- 取付板を付属の4mmのタッピングネジで固定してください。



ボール取付けの場合

適合ボール径：
φ42~φ49

- ボール固定金具に丸サラ小ネジ(M4×20)2本を2~3周ねじ込んでください。
- 取り付けようとするボールにボール取付板をあて、後からボール固定金具をはめてネジで固定してください。
- 取付板のグロメットに穴をあけコードを通してください。
- ナベ小ネジ(M4×6)2本をボール取付板に仮止めし、そこに取付板を固定してください。

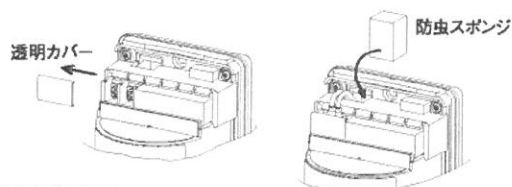


★ボールへの背中合わせ取付とボールへの直角取付の場合

- まず1台目のボール取付板を固定してください。
- 2台目のボール固定金具を先に付けたボール取付板の下をくぐらせ、そこにボール取付板を上下逆にした形で固定してください。

④ 配線作業(結線)・本体の固定

- センサ本体裏面の入線口より配線を表側に引き出してください。
- 本体を取付板に固定してください。
- 端子台の透明カバーをはずし、電源線を接続し再度カバーを装着してください。
- 取付け、配線終了後おもて側より、付属の防虫スポンジを入線口に詰めてください。



⑤ 動作確認

- 動作確認終了後、カバーを装着固定して運用してください。

10 動作確認

1. エリア・機能の設定

(1) エリアの設定

- 検知エリア図参照のうえ水平角度、検知距離の設定を行ってください。

(2) 機能の設定

- 動作モード** ... 昼・夜 (出荷時設定)
- 検知方向切替** ... A→B、B→Aのいずれかを設定 (出荷時はA→B)

2. 動作確認 (検知エリア、システム動作の確認)

- 電源を投入し約1分待ちます。
(機器が安定するまで約1分は動作しません)
- 検知対象 (人・自動車など) をエリアを横切るように移動させ、設定方向のみ動作表示灯が点灯することを確認後、検知エリアの位置を調整してください。
 - *動作表示灯は検知後約5秒間点灯します。
 - *動作表示灯は検知エリアAと検知エリアBの真ん中を指向しています。
 - *方向に拘わらず1度移動体が通過した後、約5秒間は検知しません。
 - *動作表示灯が見えにくい場合は、カバーをはずしてください。
- 受信機側でシステムが正しく動作していることを確認してください。
- 動作モードを使用条件に設定後、カバーを固定し運用してください。

11 点検方法 (正常な動作をしない場合)

次の表にしたがって点検してください。点検した結果正常動作に回復しない場合は、ご購入店または、当社までお申し出ください。

異常現象	点検方法	処置
全く動作しない	電源が入っていない (断線も含む) 電源電圧が低すぎませんか	電源線をチェックして電源電圧を適正にする
	電源を入れて約1分間経過しましたか	約1分間待つ
	検知エリア前面に遮光物体がありませんか (ガラスも遮光物体となります)	遮光物体を取りのぞく
	検知エリアの設定は適切ですか (検知距離を含む)	検知エリアを再調整する (5参照)
	動作モードの設定は適切ですか	動作モードを再調整する (6参照)
	検知方向の設定は適切ですか	検知方向を変更する
時々動作しない	検知エリアの設定は適切ですか (検知距離を含む)	検知エリアを再調整する (5参照)
	直前に別の何かがエリアを通過していませんか	移動体が通過した後約5秒間は新たな検知を行いません
	通過に5秒以上かかっていますか	5秒以上の遅い通過は検知しません
	カバー表面がほこりや水滴で汚れていませんか	柔らかい布で水ぶきした後、水滴をふきとる
人が通らないのに動作する	電源電圧が不安定になっていませんか	電源電圧を適正にする
	検知エリア内でなにか動くものがあったり、急激な温度変化が起こっていませんか	原因となるものを取りのぞく
	電氣的雑音 (放送局・アマチュア無線局など) の発生源が近くにありませんか	取付場所を変更する
	検知エリア正面から太陽光、ヘッドライトなどの直射はありませんか	取付場所を変更する 付属のフィルターを装着する 検知エリアを再調整する (5参照)
	設定した検知エリアと思われる以外の人や車を検知していませんか	検知エリアを再調整する (5参照)
	犬、猫などの小動物が出入りしていませんか	小動物の出入りを防ぐ
動作表示灯は点灯するが受信機が動作しない	電波は到達していますか	送信機または受信機の位置を変更する
	送信機が受信機に正しく登録されていますか	正しく登録する
	受信機は正常ですか	受信機を調べる

日常点検

- お手入れの際は、やわらかい布で水ぶきした後、水滴を拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤をやわらかい布に含ませ、よくしぼってから軽くふき、その後水ぶきをおこなってください。シンナー、ベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。(プラスチック部品の変形、変色、変質のおそれがあります)
- 週1回程度は定期的に動作確認をおこなってください。

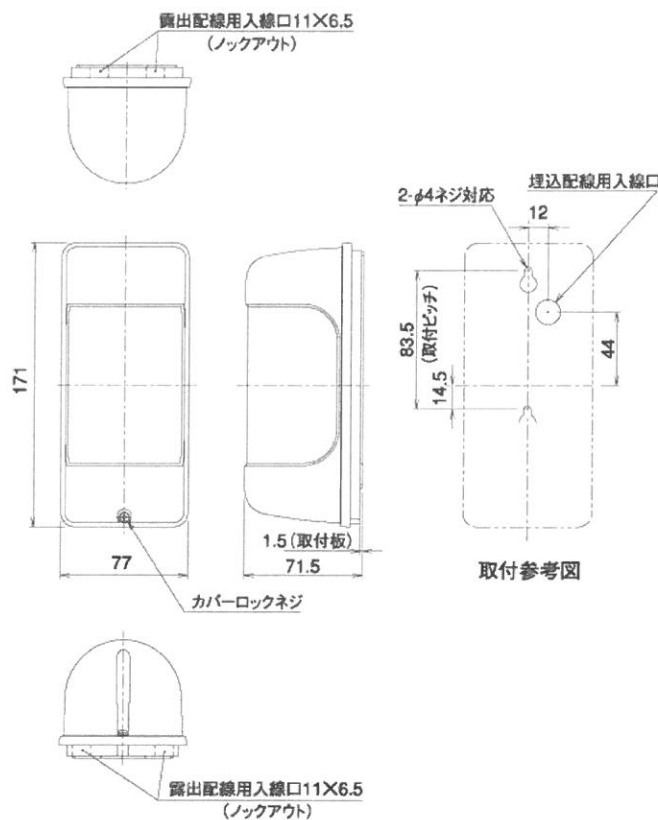
12 仕様

品名	屋外用方向判別式パッシブセンサ送信機	
品番	EXM-60T	EXM-60TA
検知方式	パッシブインフラレッド方式	
検知エリア	検知エリア A (1対) 検知エリア B (1対) 検知距離 : 0.5m ~ 6m 移動体の通過方向を選択検知 (A→BまたはA←B)	
エリア調整範囲	左右: 90° 上下: 0~6° (下方のみ: 4段階)	
電源電圧	DC10.5~30V (極性なし)	AC100V±10V (50/60Hz)
消費電力 (電流)	50mA以下	2W以下
動作	<ul style="list-style-type: none"> ●送信信号 <ul style="list-style-type: none"> ・検知信号: 方向検知時/ワンショット送信 [警報信号1+復旧信号1] (動作モードによる検知制御機能あり) ・定期送信信号: 約5時間間隔/ワンショット送信 ●表示灯/赤色LED <ul style="list-style-type: none"> ・検知表示: 方向検知時/約5秒のワンショット点灯 	
動作モード [昼夜判別機能]	設定照度以下の場合に検知送信 約10lx (夜間) ~ ∞lx (昼夜) [ボリュームにて]	
検知方向切換	A→B/B→Aの切換 [スイッチにて]	
使用周波数帯域	426MHz (小電力セキュリティシステムの無線設備)	
出力	10mW以下	
空中線	内蔵型	
電波到達距離	約100m (屋外見通し距離)	
使用可能周囲温度	-10℃~+50℃ (結露、氷結なきこと)	
設置場所	屋外・屋内 (壁面、ポール: φ42~φ49)	
配線接続	端子式 (電源: 2)	
質量	約360g (取付板 約110g含む)	
外観	本体: AES樹脂 カバー: PE樹脂 取付板: SUS430	
付属品	<ul style="list-style-type: none"> ・ポールアタッチメント: 1式 ・取付用タッピングネジ: 2本 ・外光フィルター: 1枚 ・登録No.ステッカー: 1枚 ・防虫スポンジ: 1個 ・付属説明書: 1部 ・プラグ付ケーブル: 1本 (約75cm) [EXM-60TAのみ] 	

●オプション

- ・ポールカバー: BP-11
- ・磁気シート: BR-M5

13 外形寸法 (単位: mm)



安全に関するご注意

●表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となる場合があります。

●この機器を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となる場合があります。



分解禁止

■免責事項について■

●本商品は各様の監視、警戒、報知、起動、威嚇、回避、制御、護身などに使用するもので盗難防止器、犯行防止器、災害防止器、環境破壊防止器ではありません。万一発生した盗難事故、人身事故、災害事故、環境破壊事故などによる事故損害については責任を負いかねます。
●本商品の取り付け、取り外し時の事故で発生した怪我、損害については弊社は一切責任を負いません。
●本商品の取り付け、取り外しによる建物等への損傷についても弊社は一切責任を負いません。
●地震・雷 (誘導雷サージを含む) および弊社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。

●本商品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害 (事業利益の損失、事業の中断、配線内容の変化・消失、通信機会の消失など) に関して、弊社は一切の責任を負いません。
●保守点検の不備や、取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
●弊社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
●本商品に関し、いかなる場合も弊社の費用負担は、本商品の価格内とします。

Exsight

エクサイト株式会社

〒607-8345 京都市山科区西野離宮町16-1
Tel. 075-594-8288 Fax. 075-594-8380
http://www.exsight.co.jp

*品質に関しては、当社の品質保証規定に基づき保証させていただきます。
万一不具合な点がございましたら、お買上の販売店にお申し出ください。

●仕様など予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

No.05-587 1001

小電力型ワイヤレスセキュリティシステム

サイレン・フラッシュ付き受信機 (4周波切替対応型)

RXF-25 / RXF-25R

このたびは本商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に本説明書をお読みいただき、正しいご使用をお願い申し上げます。

「サイレン・フラッシュ付き受信機RXF-25/RXF-25R」は、弊社の小電力型ワイヤレスセキュリティシステムの送信機シリーズおよびリモコン、コントローラ（双方向無線対応型）と組み合わせてご使用ください。

本機が警報信号を受信するとサイレンとフラッシュライトが動作して周囲に異常発生を報知します。

コントローラ（双方向無線対応型）の威嚇機器としてご使用いただく方法（コントローラ連動モード）とリモコン（双方向無線対応型）を組み合わせてご使用いただく方法（シングルステーションモード）があります。

4周波切替対応型送信機シリーズと組み合わせ、無線の周波数を4種類から選択することで、無線システムが多数設置された密集地域でも混信の危険性を低減することができます。

コントローラ連動モード

●システムの無線威嚇機器として使用します



主な特長

①最大50台まで登録可能

用途に応じてコントローラ（双方向無線対応型）やリモコン、送信機を最大50台登録できます。

②周波数切替機能

無線の周波数を4種類から選択して切り替えることができますので、他の無線システムとの混信の危険性を低減することができます。

③サイレン・フラッシュライト威嚇

サイレンとフラッシュライトにより音と光で威嚇します。

④警報出力を装備

警報信号や、いたずらを知らせるタンパー信号を受信したことを知らせる警報出力を装備しています。

⑤選べる警報時間

音と光による報知時間は4通りの中から選択できます。また、リモコンを使用することで報知時間中であっても停止することができます。

⑥3つの異常報知

- いたずらを知らせるタンパー報知機能
- 送信機の電圧の低下を知らせる電池切れ報知機能
- 送信機の故障、盗難などを知らせる定期送信機能

⑦便利機能と親切設計

- 電源はAC100Vまたは、DC10~30Vの2ウェイ電源
- オプションの登録・消去用ソフトを使用することでPCによる登録の管理ができます。
※詳しくは弊社までお問い合わせください。
- オプションの専用非常電源BA-20Aにより、約30分の停電補償が設けられます。(AC電源使用時のみ)

シングルステーションモード

●送信機を直接登録して、簡易セキュリティ受信機として使用します



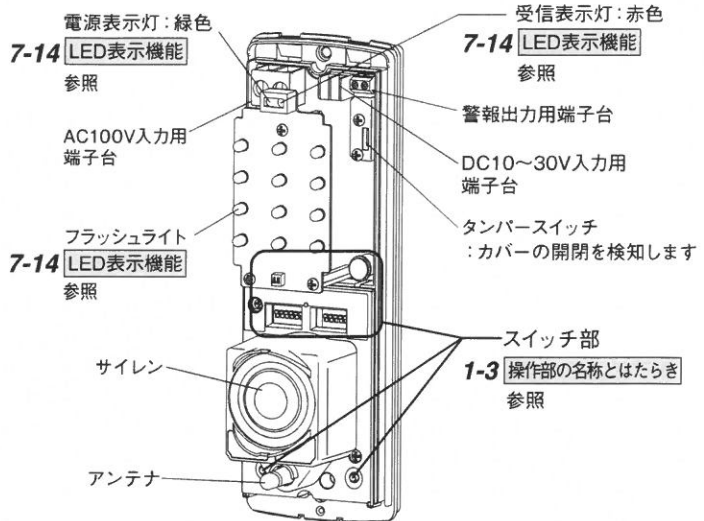
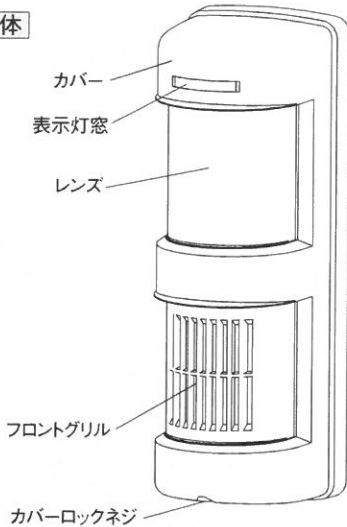
●送信機を直接登録して、常時警備のサイレンとして使用します



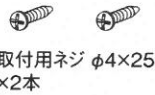
1 商品構成

●本商品の梱包内容や、説明書の文中に出てくる部位の名称、働きを説明しています。本体および付属品が開梱時にすべてそろっていることを確認してください。

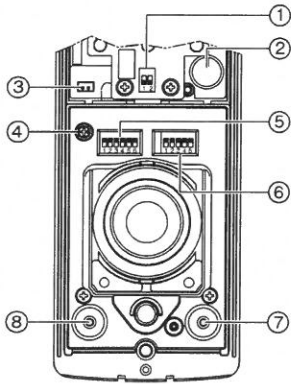
1-1 本体



1-2 付属品



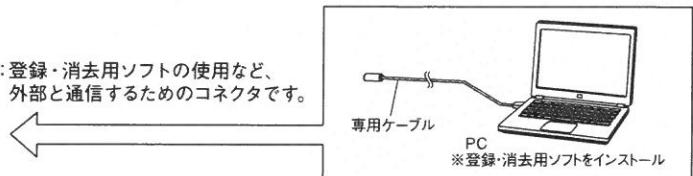
1-3 操作部の名称とはたらき



① 受信周波数設定スイッチ : 受信する電波の周波数を切り替えます。 → [7-1 受信周波数切替機能]



② 外部通信コネクタ : 登録・消去用ソフトの使用など、外部と通信するためのコネクタです。



③ BA-20A用コネクタ : AC100V供給時オプションの専用非常電源 BA-20Aを接続すると停電時に約30分バックアップができます。



④ 警報音音量ボリューム (出荷時: 中点) : 警報動作時の音量が調整できます。



※登録/消去時、警備/解除時の報知音はボリュームの設定に関係なく一定音量です。

⑤ 機能設定スイッチA



- | | |
|-----|--|
| 1 | 用途切替 (出荷時: コントローラ連動) : 運用するモードを設定できます。 → [7-2 用途切替機能] |
| 2 | 警報動作 (出荷時: リアルタイム動作) : 警報動作を行う時間を設定できます。 → [7-3 警報動作切替機能] |
| 3~4 | タイマー時間 (出荷時: 5分) : 警報動作する時間を設定できます。 → [7-4 タイマー時間切替機能] |
| 5 | 警備表示 (出荷時: あり) : 警備中に受信表示灯 (赤色) を点灯させるか、点灯させず通常表示とするかを設定できます。 → [7-5 警備表示切替機能] |
| 6 | 定期送信異常表示 (出荷時: あり) : 定期送信異常時に電源表示灯を点滅表示させるか、させないかを設定できます。 → [7-6 定期送信異常切替機能] |

⑥ 機能設定スイッチB



- | | |
|---|---|
| 1 | 報知音 (出荷時: あり) : 警備/解除移行時の報知音、送信機の電池切れ報知音を鳴らすか設定できます。 → [7-7 報知音切替機能] |
| 2 | フラッシュライト (出荷時: あり) : 警報動作時にフラッシュライトを動作させるかの設定ができます。 → [7-8 フラッシュライト切替機能] |
| 3 | メモリー表示 (出荷時: あり) : 警備中に警報動作を行ったことを記憶して表示させるか、表示させないかを設定できます。 → [7-9 メモリー表示切替機能] |
| 4 | リモコン動作切替 (出荷時: 警備/解除) : リモコンの操作によりどのような動作とするかを設定できます。 → [7-10 リモコン動作切替機能] |
| 5 | 本体タンパー (出荷時: あり) : 本機のタンパースイッチを機能させるか設定できます。 → [7-11 本体タンパー切替機能] |

⑦ 登録スイッチ : 長押しすると登録モードになり、再度押しすと通常モードになります。



⑧ 消去スイッチ : 登録モード中に長押しすると消去を行い、全ての登録が消え、登録モードに戻ります。








2










ご使用上の注意

●本機を安全に使用していただくために守っていただきたいことを、下記の表示で区分して記載しています。これらは重要ですので、必ず読んでお守りください。











表示の説明

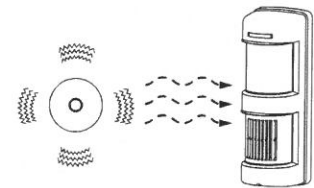
-  **警告** この警告を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
-  この表示は禁止を表し、この中の表示は具体的な禁止内容です。 例： 分解禁止
-  知っておいていただきたいことを示しています。

警告

-  万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態の場合、すぐに機器本体の電池をはずし、煙が出なくなるのを確認してから、販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
-  万一、内部に水などが入った場合、すぐに機器本体の電池をはずしてから販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
-  本機の取り付けは確実に行ってください。本機の重量に耐えられないような場所や取付方法で設置しないでください。機器が落下してけがや器物を破損する原因となります。
-  本機は天井面、壁面の補強材が通っている丈夫な場所に取り付けてください。木材以外の石膏ボードやコンクリートなどに取り付ける場合は、壁の材質に見合ったアンカーと取付ネジで確実に取り付けてください。機器が落下してけがや器物を破損する原因となります。
-  AC100VとDC10～30Vの併用や、表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となる場合があります。
-  この機器の出力接点には、表示された容量をこえるような機器を接続しないでください。感電、火災の原因となります。
-  濡れた手で端子部に触れないでください。感電の原因となります。
-  この機器を改造・分解しないでください。火災・感電の原因となります。
-  医療機器の近くで本機を使用されますと、医療機器へ影響をおよぼす場合がありますので、そのような場所での使用は避けるか、十分な動作確認を行い影響がないことを確認してからご使用ください。

注意

-  強い衝撃が加わると、性能が劣化したり、破損する場合があります。衝撃が加わらないようにていねいに取り扱いください。
-  本機の使用は日本国内に限ります。日本国外では使用しないでください。
-  本機は防雨構造です。防水構造ではありませんのでホースなどで直接水をかけないでください。また、常時水のかかる場所や浴室などの湿気の多い環境でのご使用は故障の原因となります。
-  本機の防雨性能を維持するために施工は正しい向きに行ってください。横向きや倒立させた施工をされると故障の原因となります。設置後は必ず、正しく動作することを確認してください。
-  2台以上の送信機から同時に送信されると、受信機が信号を受け付けられない場合がありますが故障ではありません。
-  本機から発生する磁界や磁気により近くの機器が正常に動作しない場合があります。必ずご確認のうえ運用してください。
-  本機の受信可能距離は、見通し距離で約100mです。建物の構造や各送信機と本機との間の障害物など、周囲の環境によっては受信可能距離が短くなる場合がありますのでご注意ください。
-  電波の到達距離は次のような使用場所では短くなる場合があります。
 - * 送信機と受信機との間に金属や鉄筋コンクリートなどの隔壁がある場合。
 - * 取付面が金属の場合や、周囲が金属で囲まれるような場所に設置した場合。(スチール家具の間など)
 - * 壁内部の断熱材にアルミ箔などを貼り付けたグラスウールなどを使用している場合。
 - * テレビ、ラジオの送信所付近の強電界地域の場合。
-  警報ベル(弊社製KB-6など)をご使用の場合は、本機と警報ベルとの距離は可能な限り(少なくとも3m以上)遠ざけてください。そのうえ設置完了後には、実際に警報ベルを鳴動させた状態で各送信機からの電波が正常に受信できることを必ず確認してください。
-  強い電界や磁気を発生する機械の近くでは正常に動作しないことがあります。

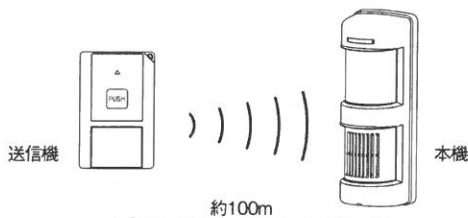


※警報ベル内部には一般的にDCモーターが使用されており、動作時には比較的強い電気ノイズが発生します。



テレビ・OA機器・モーターなどの近く

本設置を行う前に設置しようとする場所で送信された電波が確実に受信可能であることを確認してください。



3 ご使用前の準備 ※一度登録された内容は、電源供給を停止しても消えません。

- 本機をご使用いただくためには、送信機の登録が必要です。以下に送信機の登録/消去方法を説明します。送信機・リモコンの登録可能台数は最大50台までです。
- ご使用の運用モードにより登録する機器は異なります。登録前に運用モードを確認し、用途切替スイッチの運用モードをあらかじめ設定してください。運用モードの詳細は「8 運用方法」を参照してください。その他のスイッチは出荷時設定のままにしてください。

- 登録する送信機・リモコンから電波を送信して登録する場合 → **3-2 発報登録**
- 登録した送信機・リモコンを消去する場合 → **3-3 消去**
- オプションの登録・消去用ソフトを使ってPCによる登録も可能です。詳しくは弊社までお問い合わせください。

3-1 各モードでの登録について ●各運用モードにおける登録する機器は次のとおりです。

- コントローラ運動モード** コントローラ（双方向無線対応型）のみを登録してください。（RXT-700CTIなど）
コントローラに登録した送信機を、本機にも登録された場合はコントローラ側を解除しても、その送信機からの信号を本機が直接受信し、警報動作しますのでご注意ください。（リモコンや送信機はすべてコントローラ側に登録します）詳しくはコントローラ側の取扱説明書をご覧ください。
- シングルステーションモード** ご使用になるすべての送信機とリモコンを登録してください。

3-2 発報登録

- ①本機の周波数を、登録する送信機の周波数に合わせて「受信周波数設定スイッチ」を切り替えてください。

→ 「7-1 受信周波数切替機能」

! 4周波切替対応型以外の送信機を登録する場合は、必ず周波数を「F1」（出荷時）にしてください。

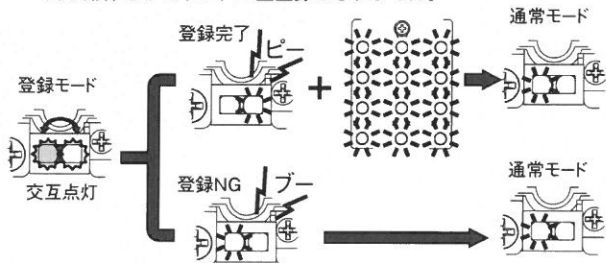
- ②電源を投入すると「通常モード」となり電源表示灯（緑色）が点灯します。
- ③ [登録スイッチ] を1秒以上押して「登録モード」にしてください。電源表示灯（緑色）と受信表示灯（赤色）が交互点灯します。

- ④コントローラ運動モードで運用する場合は、コントローラ（双方向無線対応型）の電波を送信してください。シングルステーションモードで運用する場合は登録したい送信機・リモコンから電波を送信してください。（詳しくは各々の取扱説明書をご覧ください）

※2分間何も操作がない場合は、報知音が1秒間「ブー」と鳴り自動的に「通常モード」に戻ります。

- ⑤登録が完了すると、報知音が「ピー」と鳴り、フラッシュライトの点灯と警報出力動作をそれぞれ1秒間行います。また登録と同時に自動的に「通常モード」に戻り、電源表示灯（緑色）が点灯します。

※登録済みの機器を誤ってもう一度登録した場合「登録完了時」と同じ動作をしますが、二重登録はされません。



! 報知音が「ブー」と鳴った場合は登録台数が50台を超えています。いったん登録を消して再登録するか、他の受信機をご用意ください。

- ⑥登録した機器をもう一度動作させて、所定の動作をすれば正しく登録されています。動作しない場合は、違う機器が登録されていますので、一度消去して、もう一度③から登録をやり直してください。

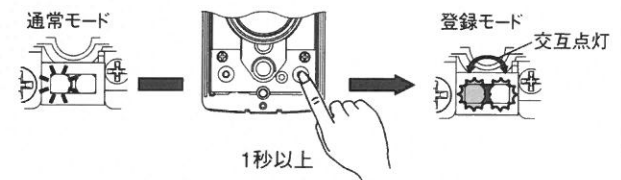
- 引き続き登録を行う場合 → ③へ
- 登録を終了する場合は次項に進む → 「4 取付方法」へ

3-3 消去

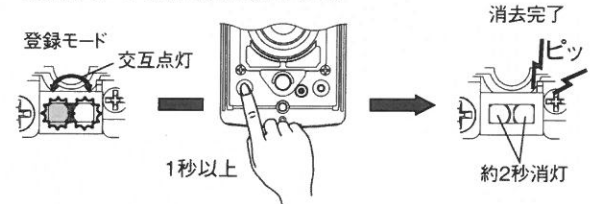
- 登録を変更される場合は、一度すべての登録を消去してからもう一度登録を行ってください。

! 消去をすると、登録しているすべての内容が消えます。個別消去を行う場合は、オプションの登録・消去用ソフトをご利用ください。

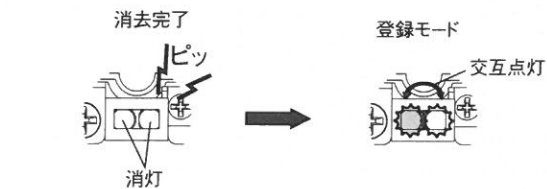
- ①電源を投入すると「通常モード」となり電源表示灯（緑色）が点灯します。
- ② [登録スイッチ] を1秒以上押して「登録モード」にしてください。電源表示灯（緑色）と受信表示灯（赤色）が交互点灯します。



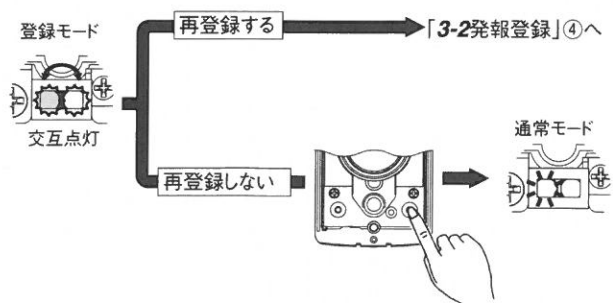
- ③消去スイッチを1秒以上押してください。登録されているすべての機器の登録が消去されます。消去ができたなら、電源表示灯（緑色）と受信表示灯（赤色）が交互点灯を止めて約2秒間消灯します。



- ④その後再び「登録モード」に戻り、電源表示灯（緑色）と受信表示灯（赤色）が交互点灯します。



- ⑤再登録作業を行う場合は「3-2 発報登録」を行ってください。再登録作業を行わない場合は、登録スイッチを押して「通常モード」に戻ってください。

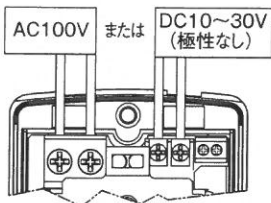


4 取付方法

●登録した送信機から電波を送信し、電波の受信状態が良好な場所に本機を設置してください。
 ※入線口や取付面とのスキマにはシール剤などにてコーキングを施し十分な防虫、防水対策をしてください。

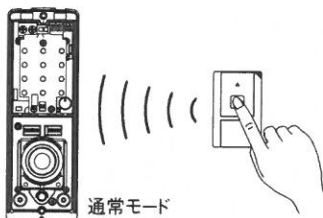
4-1 仮設置

- ①受信機を設置する場所に受信機を置き「5 配線方法」の項を参照のうえ、AC100VまたはDC10～30Vを供給してください。



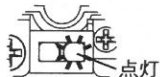
⚠ AC100VとDC10～30Vの併用はできません。どちらか一方を供給してください。

- ②送信機を使用する場所から電波を送信してください。



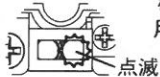
- ③電波を受信したときの「受信表示灯」の表示を確認してください。

“点灯”した場合：受信レベルが良いので、その場所への取り付けを行うことができます。



→ 4-2 設置へ

“点滅”した場合：受信レベルが弱いので、本機の設置位置を変更するか、または別売の中継機を使用して“点灯”するようにしてください。



→ 変更後 ②からやり直す

“消灯”している場合：受信できていません。本機の設置位置を変更するか、または別売の中継機を使用して“点灯”するようにしてください。



→ 変更後 ②からやり直す

⚠ 中継機 RTX-200を使用する場合、システム中に1台しか使用できません。
 中継機 RTXF-300の場合は、リモコンの中継については1台しか使用できませんので注意してください。

4-2 設置 ●設置方法を選んでください。

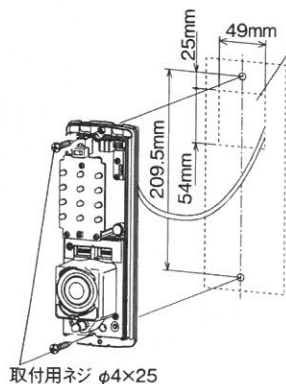
【埋込配線による壁面への設置】を行う場合 → 4-2-1 へ

【露出配線による壁面への設置】を行う場合 → 4-2-2 へ

【スイッチボックスなどへの設置】を行う場合 → 4-2-3 へ

【ボールなどへの設置】を行う場合 → 4-2-4 へ

4-2-1 【埋込配線による壁面への設置】



取付用ネジ φ4×25

- ①壁面からの配線引出箇所が配線ボックス内に入るように配線を引き出し、入線口を通して「5 配線方法」を参照して配線してください。

- ②本体を壁面に取り付けてください。正面から見て傾きのないように真っすぐに取り付けてください。

- ③「8 運用方法」を参照し、用途に合わせて「機能設定スイッチA・B」を設定してください。

- ④カバーをはめて、カバーロックネジで固定してください。

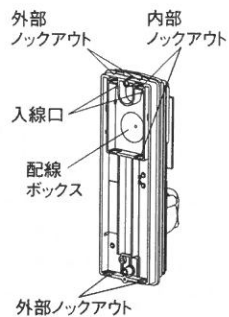
4-2-2 【露出配線による壁面への設置】

- ①入線経路を決め、使用する外部ノックアウト（天地4カ所）と対応する内部ノックアウト（4カ所）の2カ所をニッパなどで破り、入線口を通して「5 配線方法」を参照して配線してください。

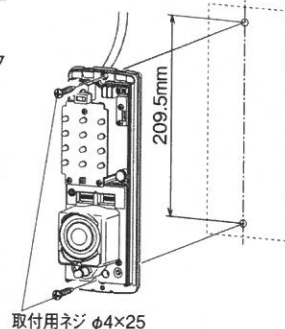
- ②本体を壁面に取り付けてください。正面から見て傾きのないように真っすぐに取り付けてください。

- ③「8 運用方法」を参照し、用途に合わせて「機能設定スイッチA・B」を設定してください。

- ④カバーをはめて、カバーロックネジで固定してください。



外部ノックアウト



取付用ネジ φ4×25

4-2-3 【スイッチボックスなどへの設置】

- ①市販のスイッチボックスなどを使用して壁面などに設置する場合は、別売の壁掛金具BW-24をご使用ください。（ボックスに固定する穴の適合ピッチは、83.5mmです）

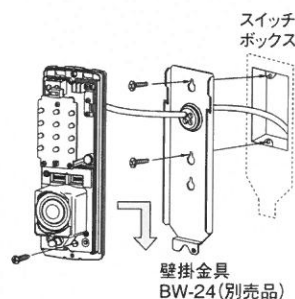
- ②本体を壁面に取り付けてください。正面から見て傾きのないように真っすぐに取り付けてください。

※壁掛金具BW-24への取付方法は金具に付属の取付説明書をお読みください。

- ③入線口を通して「5 配線方法」を参照して配線してください。

- ④「8 運用方法」を参照し、用途に合わせて「機能設定スイッチA・B」を設定してください。

- ⑤カバーをはめて、カバーロックネジで固定してください。



壁掛金具BW-24(別売品)

4-2-4 【ボールなどへの設置】

- ①ボールなどの円柱形のものに取り付ける場合は、別売のボールアタッチメントBP-22をご使用ください。

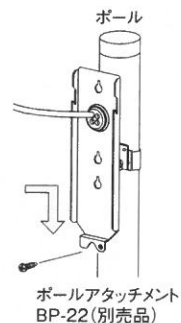
- ②本体を壁面に取り付けてください。正面から見て傾きのないように真っすぐに取り付けてください。

※ボールアタッチメントBP-22への取付方法は金具に付属の取付説明書をお読みください。

- ③入線口を通して「5 配線方法」を参照して配線してください。

- ④「8 運用方法」を参照し、用途に合わせて「機能設定スイッチA・B」を設定してください。

- ⑤カバーをはめて、カバーロックネジで固定してください。



ボールアタッチメントBP-22(別売品)

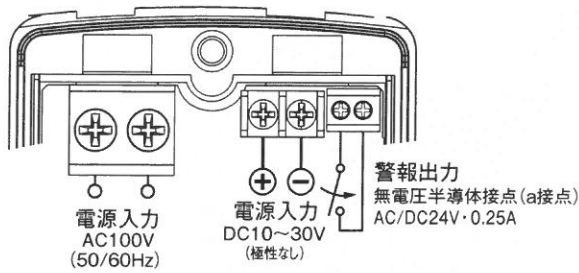
5 配線方法

5-1 端子配列



①電源入力にはAC100VかDC10~30Vのいずれかをご使用いただき、併用は絶対にしないでください。火災や故障の原因になります。

②本機の警備／解除の制御を電源のON/OFFで行わないでください。解除中も送信機の状態を監視しているため、正常に動作しない場合があります。



●DC電源使用時の配線距離 (単位: m)

電線サイズ	電源電圧	
	DC12V	DC24V
φ0.9mm	50m	600m
φ1.2mm	150m	1100m
φ1.6mm	250m	1900m

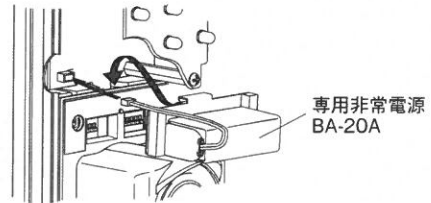
※DC電源を使用される場合は停電時にも動作できるバックアップ付きの機器を選んでください。

バックアップ電源について

●AC電源使用時は、停電時にも約30分間待機後、約5分間警報動作のバックアップができる専用非常電源 BA-20Aをオプションで用意しています。必要に応じてお問い合わせください。



DC電源使用時は専用非常電源 BA-20A は使用できません。



※詳しくは専用非常電源に付属の取扱説明書をお読みください。

6 動作確認

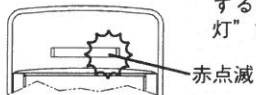
コントローラ連動モード で運用時

①電源を供給してください。
“通常モード”となり電源表示灯 (緑色) が点灯していることを確認してください。

②登録済みのコントローラを警報動作させ、警報信号を送信させてください。電波を受信すると、本機の受信表示灯 (赤色) が点灯し「7機能説明」で設定した通りに警報動作することを確認してください。

※送信方法は、各送信機の取扱説明書をご覧ください。

“赤点滅”した場合：受信レベルが弱いので、本機の設置位置を変更するか、または別売の中継機を使用して“点灯”するようにしてください。



※“消灯”したままの場合：受信できていません。本機の設置位置を変更するか、または別売の中継機を使用して“点灯”するようにしてください。

③警報動作を停止させる場合は、コントローラを操作して停止させてください。

※停止方法は、コントローラの取扱説明書をご覧ください。

シングルステーションモード で運用時

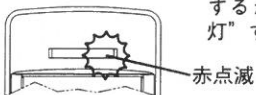
①電源を供給してください。
“通常モード”となり電源表示灯 (緑色) が点灯していることを確認してください。

②リモコンの警備ボタンを押して警備状態にしてください。「7-10 リモコン動作切替機能」にて“警備／解除”「7-5 警備表示切替機能」にて“あり”に設定している場合は、受信表示灯 (赤色) が点灯します。

③登録済み送信機より警報信号を送信させてください。
電波を受信すると本機の受信表示灯 (赤色) が点灯し「7機能説明」で設定した通りに警報動作することを確認してください。

※送信方法は、各送信機の取扱説明書をご覧ください。

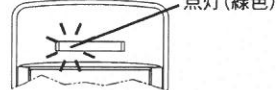
“赤点滅”した場合：受信レベルが弱いので、本機の設置位置を変更するか、または別売の中継機を使用して“点灯”するようにしてください。



※“消灯”したままの場合：受信できていません。本機の設置位置を変更するか、または別売の中継機を使用して“点灯”するようにしてください。

④警報動作を停止させる場合リモコンの解除ボタンを押してください。
通常モードに戻り電源表示灯 (緑色) が点灯します。

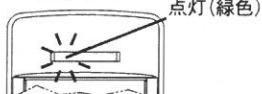
通常モード



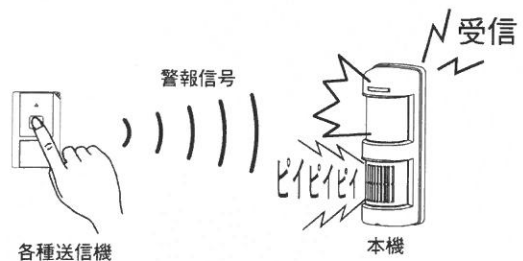
電波受信時



通常モード

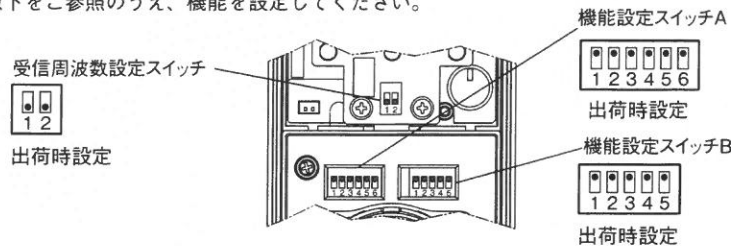


警備状態



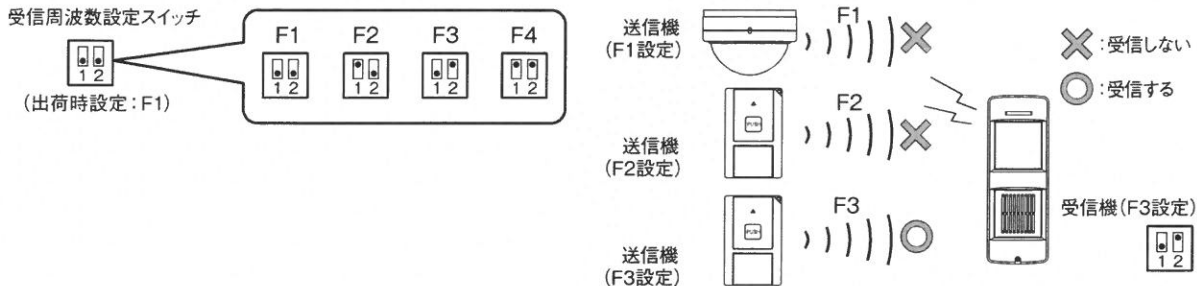
7 機能説明

●本書に出てくる機能の内容、設定方法を説明します。
 以下をご参照のうえ、機能を設定してください。



7-1 受信周波数切替機能

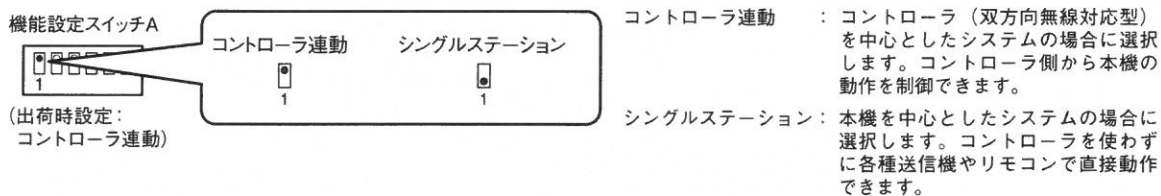
●受信する周波数を「F1～F4」の内から選択することで、電波の混信を緩和する機能です。
 ※同じ周波数に設定した機器からの信号のみ受信します。



⚠ 周波数設定機能のない機器の周波数は「F1」ですので、その場合は「F1（出荷時設定）」に設定してください。
 F1以外の設定にすると受信しませんので、ご注意ください。

7-2 用途切替機能

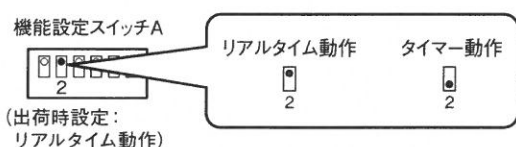
●システムを「コントローラ連動」とするか「シングルステーション」とするかの設定ができます。



⚠ 「コントローラ連動」の場合、コントローラに登録した送信機からの警報は、コントローラから本機に対して警報として送信されます。したがって本機からは送信機の警報がコントローラの警報またはタンパーか区別ができません。この場合は、コントローラ側で確認してください。

7-3 警報動作切替機能

●コントローラ（双方向無線対応型）または送信機タイプ「3：接点」をご使用の場合、警報信号を受信してから復旧するまでの間警報動作をさせるか、本機で設定したタイマー時間だけ動作させるかの選択ができます。



リアルタイム動作：コントローラおよび送信機タイプ「3：接点」からの警報信号を受信してから復旧信号を受信するまで警報動作を行います。

※1 「7-2 用途切替機能」で「コントローラ連動」選択時はコントローラ側で設定されたタイマー時間、動作します。

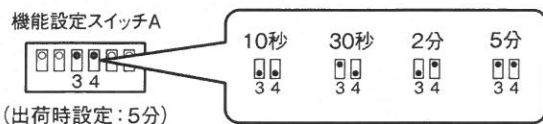
※2 「7-2 用途切替機能」で「シングルステーション」選択時は送信機タイプが「3：接点」の送信機から受信したときは復旧信号を受信するまで動作します。送信機タイプが「1：携帯」・「2：パッシブ」の送信機から受信したときは「7-4 タイマー時間切替機能」で設定した時間だけ動作します。

タイマー動作：「7-4 タイマー時間切替機能」で設定した時間だけ警報動作します。

⚠ リアルタイム動作時でも連続警報時間は最大10分です。

7-4 タイマー時間切替機能

●警報動作時間の選択ができます。

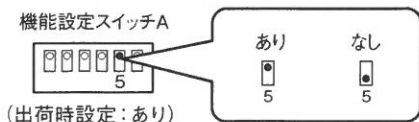


⚠ ①警報動作中に再度入力があっても時間は延長されません。（リトリガされません）

②「7-3 警報動作切替機能」で「リアルタイム動作」選択時に、「コントローラ連動」を選択した場合または「シングルステーション」を選択し送信機タイプが「3：接点」の送信機から受信した場合はこの設定は無効です。

7-5 警備表示切替機能

●「7-2 用途切替機能」で「シングルステーション」選択時のみ設定できる機能で、警備中に警備表示をするか、しないかの選択ができます。



あり：警備中は受信表示灯（赤色）が点灯します。

なし：警備中でも受信表示灯（赤色）は点灯しません。

⚠ 「7-2 用途切替機能」で「コントローラ連動」選択時は警備／解除の切替はできません。

7-6 定期送信異常表示切替機能 ●定期送信異常時に表示をするか、しないかの選択ができます。

機能設定スイッチA



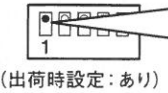
(出荷時設定：あり)

あり なし
6 6

あり：定期送信異常時に受信表示灯（赤色）が2回ずつ点滅を繰り返します。
なし：定期送信異常時の表示はしません。

7-7 報知音切替機能 ●「7-2 用途切替機能」で“シングルステーション”選択時のみ設定できる機能で、リモコンによる操作用音、電池切れ信号受信後に報知音を鳴らすかの選択ができます。

機能設定スイッチB



(出荷時設定：あり)

あり なし
1 1

あり：

事 象	報 知 音
警備開始時	「ビッ」
警備開始時に送信機が警報およびタンパー異常状態のとき ※センサーの状態を確認してから再度警備開始操作してください。	「ビー」を5回くり返し
警備解除時	「ビッビッ」
警備解除時に警報メモリーがあるとき	「ビッビッ」の後に「ビー」（2秒間）
送信機からの電池切れ報知を受信した後	20秒に1回「ビッ」

なし：上記報知音は鳴りません。

7-8 フラッシュライト切替機能 ●警報動作時にフラッシュライトによる表示をするか、しないかの選択ができます。

機能設定スイッチB



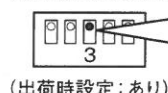
(出荷時設定：あり)

あり なし
2 2

あり：警報動作時に0.4秒点滅→0.4秒消灯をします。
なし：警報動作時の表示はしません。

7-9 メモリー表示切替機能 ●警備中に警報動作（警報信号受信・タンパー異常発生）があったことを表示するか、しないかの選択ができます。（「7-2用途切替機能」で“シングルステーション”選択時のみ有効です）警報動作終了後よりフラッシュライトにより表示動作を開始します。「7-10リモコン動作切替機能」で“警備／解除”選択時は解除中に再度リモコンの解除ボタンを押す、または警備ボタンを押して警備を開始すると表示は消えます。「7-10リモコン動作切替機能」で“警報停止”選択時は解除ボタンを押すと表示は消えます。

機能設定スイッチB



(出荷時設定：あり)

あり なし
3 3

あり：メモリーがあるとフラッシュライトが約3秒ごとに0.05秒間の点滅動作を行います。
なし：メモリーがあっても表示を行いません。

7-10 リモコン動作切替機能 ●リモコンによる操作を“警備／解除”用として使用するか“警報停止”用として使用するかの選択ができます。（「7-2用途切替機能」で“シングルステーション”選択時に有効です）※リモコン動作切替が“警備／解除”時に、警備状態でのみ送信機のタンパーを受け付けます。「警報停止」設定時には、受け付けません。

機能設定スイッチB



(出荷時設定：警備／解除)

警備／解除 警報停止
4 4

警備／解除：リモコンの警備ボタンを押すと警備状態に、解除ボタンを押すと解除状態になります。（警報動作中に解除ボタンを押すと、すぐに解除され、警報動作が停止します）
警報停止：警報動作中にリモコンの解除ボタンを押すと、すぐに警報動作が停止します。リモコンの警備ボタンを押しても停止しません。

7-11 本体タンパー切替機能 ●本機のカバーが開けられたことを検知し、警報動作するか、しないかの設定ができます。

※カバーを開けたまま電源投入した場合や設定スイッチをOFFからONにした場合は一度カバーを閉めてから再び開けた時点で動作します。

機能設定スイッチB



(出荷時設定：あり)

あり なし
5 5

あり：タンパー機能を有効にします。
なし：タンパー機能を無効にします。

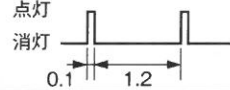
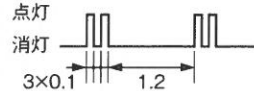
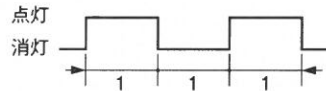

7-12 電池切れ異常報知機能 ●各送信機の電池が消耗し電圧が低下した場合、定期送信や警報信号などに情報を付加された信号を受信すると電源表示灯（緑色）の点滅や報知音にてお知らせする機能です。（電池切れの機器の電池を新品に交換すると表示は消えます）

7-13 定期送信異常報知機能 ●送信機からの電波が本機に正常に伝えられているかを定期的に送信される信号を受信し、チェックします。周辺状況の変化などで万一電波が届かなくなった場合や送信機の故障、盗難などがあった場合、受信表示灯（赤色）の点滅にてお知らせする機能です。定期送信異常を起こしている機器からの電波を受信すると表示は消えます。

7-14 LED表示機能

電源表示灯の点灯パターン

(単位：秒)

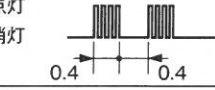
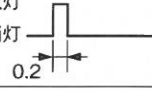

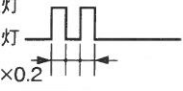
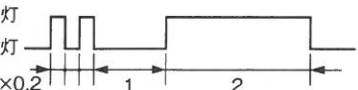
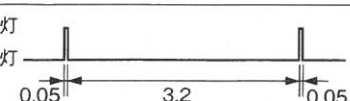
項目	設定	表示
通常モード	「7-5 警備表示切替機能」で“なし”または“あり”で警戒解除中	点灯
通常モード	「7-5 警備表示切替機能」で“あり”で警備中	消灯
電池切れ異常時	「7-2 用途切替機能」で“シングルステーション”選択時	点灯 消灯 
定期送信異常時	_____	点灯 消灯 
停電バックアップ時 または 停電バックアップ+異常発生時	_____	点灯 消灯 
電池切れ異常+定期送信異常時	_____	点灯 消灯 
登録モード	_____	受信表示灯(赤色)との0.5秒ずつの交互点灯
消去時	_____	2秒間消灯(受信表示灯(赤色)と同期)

受信表示灯の点灯パターン

項目	設定	表示
電波受信レベル正常時	_____	受信時間+0.5秒点灯
電波受信レベル低下時	_____	受信時間+4秒点滅
警備状態	「7-5 警備表示切替機能」で“あり”選択時	点灯
解除状態	「7-2 用途切替機能」で“シングルステーション”選択時	消灯
登録モード	_____	電源表示灯(緑色)との0.5秒ずつの交互点灯
消去時	_____	2秒間消灯(電源表示灯(緑色)と同期)

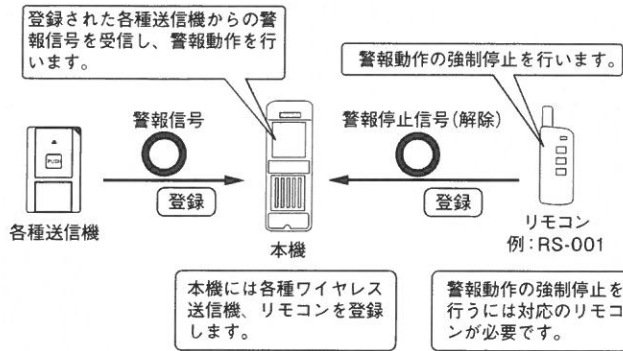
フラッシュライトの点灯パターン

(単位：秒)

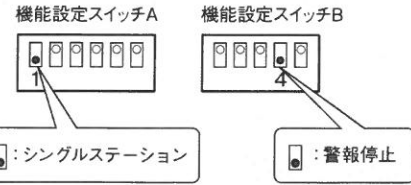
項目	設定	表示
警報動作	「7-8 フラッシュライト切替機能」で“あり”選択時	点灯 消灯 
警備開始時	「7-5 警備表示切替機能」で“あり”選択時 「7-10 リモコン動作切替機能」で“警備/解除”選択時	点灯 消灯 
警備開始時(警報発生中)	〃	点灯 消灯 
警備解除時	〃	点灯 消灯 
警備解除時(警報メモリー中)	〃	点灯 消灯 
警報メモリー中	「7-9 メモリー表示切替機能」で“あり”選択時	点灯 消灯 
登録時	_____	1秒間点灯

シングルステーションモード(2)

●ワイヤレス送信機を直接登録して、常時警備のサイレンとして使用します



●切替に必要な設定スイッチ



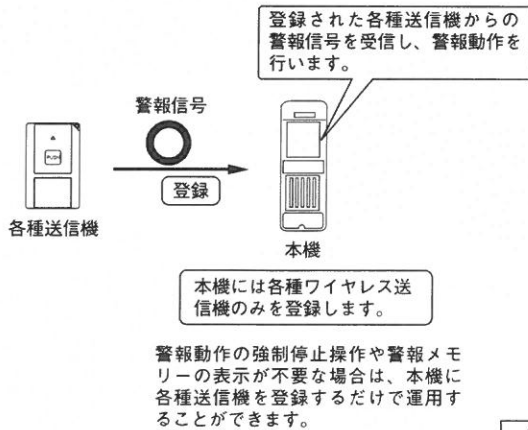
機能設定スイッチの詳細は「7機能説明」を参照してください。

⚠ 各種送信機、リモコンと本機の周波数は必ず同じ設定にしてください。各種送信機、リモコンが4周波切替対応型でない場合は、本機の受信周波数を「F1」にしてください。

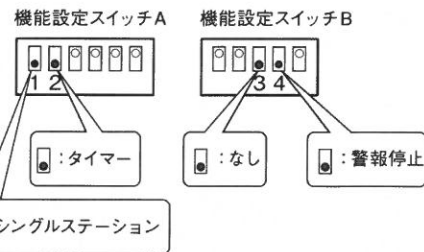
	警報出力	フラッシュライト	サイレン	表示灯
警報時の動作 (警報信号受信時)	接点が反転して出力	0.4秒点滅、0.4秒消灯のくり返し	鳴動	赤色：受信時間+0.5秒点灯
警報動作の停止	接点が反転して復帰	停止	停止	赤色：0.5秒点灯
警報メモリの動作	———	警報動作の終了後約3秒ごとに0.05秒間点灯 リモコンの解除ボタンを押すとメモリーリセット	———	———
送信機の電池切れ時	———	———	20秒に1回の周期で“ビップ”	緑色：点滅 (0.1秒点灯・1.2秒消灯)

シングルステーションモード(3)

●常時警備のサイレンとしてリモコンを使用せずに運用する場合



●切替に必要な設定スイッチ



機能設定スイッチの詳細は「7機能説明」を参照してください。

⚠ 各種送信機と本機の周波数は必ず同じ設定にしてください。各種送信機が4周波切替対応型でない場合は、本機の受信周波数を「F1」にしてください。

	警報出力	フラッシュライト	サイレン	表示灯
警報時の動作 (警報信号受信時)	接点が反転して出力	0.4秒点滅、0.4秒消灯のくり返し	鳴動	赤色：受信時間+0.5秒点灯
送信機の電池切れ時	———	———	20秒に1回の周期で“ビップ”	緑色：点滅 (0.1秒点灯・1.2秒消灯)

9 異常時の点検一覧表

以下の表にしたがって点検してください。点検の結果、なお正常な動作に回復しない場合は、ご購入店または弊社までお申し出ください。

状態	原因	処置
◎全く動作しない (電源表示灯消灯)	●電源が入っていない (断線も含む)	●電源ラインを確認する
◎全く受信しない (電源表示灯点灯、本体タンパーは動作する)	●使用機器が本機に登録されていない ●本機に電波が到達していない ●受信周波数設定スイッチが間違っている	●登録する ●電波が到達しやすい場所に本機または送信側の機器の設置場所を変更するか中継機を使用する ●送信機・リモコン・コントローラと周波数を合わせる
◎受信しないことがある	●強い電界や磁界および電気ノイズを発生する機器が近くにある ●送信側の機器と本機との距離が遠すぎる	●該当機器から遠ざけるなど設置環境を再検討する ●設置場所を変更するか中継機を使用する

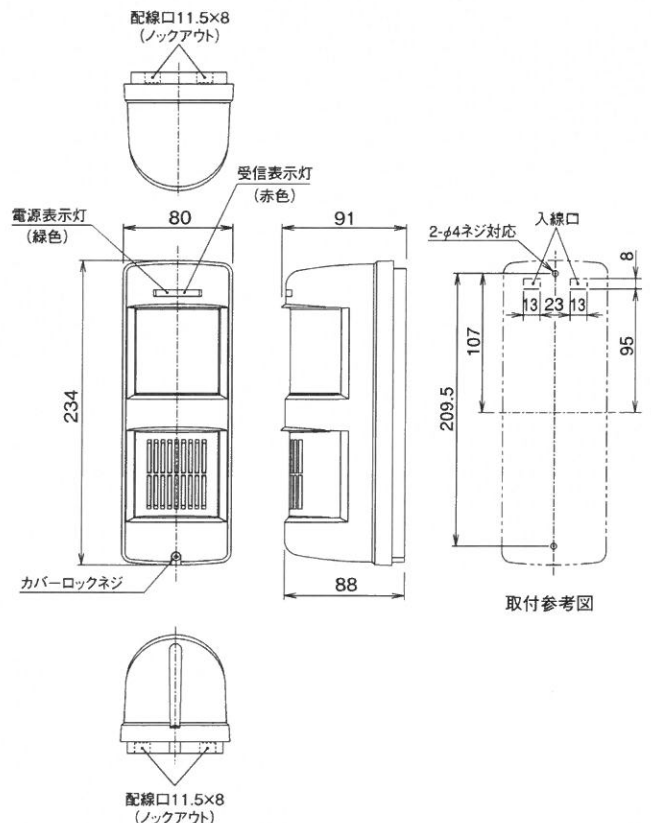
日常点検

- お手入れの際は、やわらかい布で水ぶきした後、水滴をふき取ってください。汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤を含ませたやわらかい布で軽くふいた後、洗剤が残らないようにふき取ってください。シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。(プラスチック部品が変形、変色、変質するおそれがあります)
- 週1回程度は定期的に動作確認を行ってください。

10 仕様

品名	サイレン・フラッシュ付き受信機 (4周波切替対応型)	
品番	RXF-25	RXF-25R
電源入力	DC10~30V (極性なし) または AC100V 50/60Hz	
消費電流/消費電力	330mA/2.5W	
使用周波数帯	426MHz帯 4波 (小電力セキュリティシステムの無線設備)	
空中線	ヘリカルアンテナ (内蔵)	
受信可能距離	約100m (見通し距離)	
フラッシュ出力	閃光色: 赤色 (高輝度LED×12個) 点滅周期: 警報時、約0.4秒点滅、0.4秒消灯をくり返す 警備へ移行時、約0.2秒1回点灯 解除へ移行時、約0.6秒の間2回点灯 (0.2秒点灯、0.2秒消灯、0.2秒点灯) メモリー表示動作時、約3秒ごとに点灯	
サイレン出力	音量: 警報時、無音~95dB以上 (音量ボリュームにより可変) 警備/解除時の報知音は音量ボリュームに関係なく一定音量 鳴動周期: 警報時、連続鳴動 警備へ移行時、約0.2秒1回鳴動 (フラッシュに同期) 解除へ移行時、約0.6秒の間2回鳴動 (フラッシュに同期)	
警報出力	接点方式: 無電圧半導体接点 (a接点) 接点動作: 警報動作モード「タイマー動作」設定時、設定時間動作 (10秒、30秒、2分、5分) リトリガなし 警報動作モード「リアルタイム動作」設定時、コントローラに連動または接点入力型送信機の動作に連動 (ただし最大動作時間は10分) 接点容量: AC/DC24V・0.25A以下 (抵抗負荷)	
電源表示灯 (緑色)	通電時: 点灯 (ただし、警備表示ありの場合警備中は消灯) 送信機電池切れ報知時: 点滅 (0.1秒点灯、1.2秒消灯) 定期送信異常報知時: 点滅 (0.3秒の間2回点灯、1.2秒消灯) 停電バックアップ時: 点滅 (1秒点灯、1秒消灯) 専用非常電源使用時のみ 送信機で電池切れ + 定期送信異常報知時	
受信表示灯 (赤色)	受信レベル正常時: 点灯 (受信時間+0.5秒間) 受信レベル低下時: 点滅 (受信時間+4秒間) 警備時: 点灯	
送信機登録可能台数	50台	
タンパー動作	送信機タンパー: タンパー信号受信時、タイマー設定時間の間警報動作 (コントローラ連動モード時はコントローラの動作に連動) 本体タンパー: 本体カバー開時、タイマー設定時間の間警報動作	
警報メモリー動作	警報動作後の報知動作: 約3秒ごとにフラッシュライト点灯 解除動作時の報知動作: 解除へ移行動作後 2秒間フラッシュライト点灯と報知音鳴動動作	
送信機電池切れ報知機能	電源表示灯: 点滅 (0.1秒点灯・1.2秒消灯) サイレン: 20秒ごとに約0.2秒鳴動	
使用可能周囲温度	-10℃~+50℃ (結露なきこと)	
配線接続	端子式	
設置場所	屋外・屋内 (防雨構造 IP43相当)	
付帯機能	受信周波数切替機能・警報動作切替機能・タイマー時間切替機能 警備表示切替機能・定期送信異常表示切替機能・報知音切替機能 フラッシュライト切替機能・メモリー表示切替機能・本体タンパー切替機能 電池切れ異常報知機能・定期送信異常報知機能・LED表示機能	
質量	約470g	
外觀	本体: AES樹脂	レンズ: PC樹脂
	ホワイト	レッド

11 外形寸法図 (単位: mm)



オプション

- 専用非常電源 BA-20A
- 壁掛金具 BW-24
- ポールアタッチメント BP-22

■免責事項について■

- 弊社の商品は各種の監視、警報、通知、起動、威嚇、忌避、制御、護身などに使用するので盗難防止器、犯行防止器、災害防止器、環境破壊防止器、人身事故防止器ではありません。万一発生した盗難事故、人身事故、災害事故、環境破壊事故、施工上の不備などによる事故損害については責任を負いかねます。
- 本商品の取り付け、取りはずし時の事故で発生した怪我、損害については弊社は一切責任を負いません。
- 本商品の取り付け、取りはずしによる建物などへの損傷についても弊社は一切責任を負いません。
- 地震、雷 (誘導雷サージを含む) および弊社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本商品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害 (事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化、消失、通信機会の消失など) に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 保守点検や施工上の不備、取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 弊社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作 (誤報・失報を含む) などから生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本商品に関し、いかなる場合も弊社の費用負担は、本商品の価格内とします。

TAKEX 竹中エンジニアリング株式会社

竹中エンジニアリング株式会社 汎用機器事業部
事業本部 〒607-8156 京都市山科区東野五条通外環西入83-1
TEL (075) 594-7211 (代) FAX (075) 501-2085
札幌・仙台・郡山・高崎・さいたま・千葉・東京・立川・横浜・長野・静岡・名古屋・金沢
京都・大阪・神戸・広島・高松・福岡・熊本・U.S.・U.K.・AUS.

http://www.takex-eng.co.jp/

●仕様など予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。*品質に関しては、当社の品質保証規定に基づき保証させていただきます。万一不具合な点がございましたら、お買上の販売店にお申し出ください。